

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170200390		
法人名	医療法人なごみ会		
事業所名	酒井医院グループホームなごやか		
所在地	佐賀県唐津市鎮西町名護屋4198番地		
自己評価作成日	平成27年10月23日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html">http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成27年11月11日	外部評価確定日	平成27年12月18日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

1、受容、共感、高めあい。2、敬愛の心を持って笑顔を引き出します。3、地元とふれ合い貢献します。4、花鳥風月を感じながら心穏やかに入居者様主体かつお一人お一人の存在が活かされ安心できる場所の理念の元介護福祉士の他医師や看護職、栄養士、理学療法士、等専門職の知識技術をもって協働し、歴史があり、恵まれた自然環境の中で人として当たり前の暮らしを提供し穏やかな看取りに繋がられるよう努めております。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

開設10年目を迎え、母体の医療機関と共に地域にとけ込んでいるグループホームは、名護屋城址のすぐ側で歴史的な自然環境の中、デイサービス利用の人と話をするなど住み慣れた土地で普通の生活が営まれている。居室には馴染みの品が持込まれ、その人らしい落ち着いた生活ができる環境が整っている。広い敷地内は、四季折々の花が咲くよう花壇を設け、車椅子でもスムーズに散歩が出来るよう整えられている。母体である医療機関と密に連携があり、利用者や家族に安心感をもたらしている。

# 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 東 )	自己評価／ユニットB( 西 )	外部評価	
			(事業所記入欄)	(事業所記入欄)	(評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員全員で地域に密着したホームを意識して理念を作成し、新人研修で確認し日常業務の中で機会あることに気づきにつなげスタッフ全員で共有すると共に地域の行事にも参加するよう地域密着を意識した生活の実践につなげている。	職員全員で地域に密着したホームを意識して理念を作成し、新人研修で確認し日常業務の中で機会あることに気づきにつなげスタッフ全員で共有すると共に地域の行事にも参加するよう地域密着を意識した生活の実践につなげている。	開所時に作成された理念は、職員の異動はあるものの、受容共感の意識は変わらず、管理者の適切な指導で全職員に浸透している。日々の支援にあたっては、常に理念を意識しながら利用者として接している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩や買い物かかりつけ薬局や保育園、学校近医受診と介護支援ボランティア等日常的に触れ合う機会が多い。	散歩や買い物かかりつけ薬局や保育園、学校近医受診と介護支援ボランティア等日常的に触れ合う機会が多い。	自治会に加入し、地域住民の一員として、地区の行事などの活動にも参加している。開設時から行われている地元小学校の子どもたちとの交流も、現在まで継続している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症ケアサービスへの導入等民生委員の参加が多い運営推進会議で具体的に伝えるようにしている。また、デイサービスや居宅支援事業所を併設し相談にのったりサービスに繋げている。	認知症ケアサービスへの導入等民生委員の参加が多い運営推進会議で具体的に伝えるようにしている。また、デイサービスや居宅支援事業所を併設し相談やサービスに繋げている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進委員様とは馴染みの方もあり双方で意見交換ができるような雰囲気づくりに配慮しより良いサービスに繋がる意見が引き出せるよう進んでいる。	運営推進委員様とは馴染みの方もあり双方で意見交換ができるような雰囲気づくりに配慮している。	2ヶ月に1回確実に開催され、利用者の家族を始め各推進委員の出席率は良い。日頃からメンバーとのコミュニケーションが図られているため、事業所からの報告のみならず双方意見交換の場となり運営に活かされている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	原発の対応やホームに住所を置いて居られる方があり、市の担当者や情報共有することも多い。運営推進会議には毎回出席いただいている。	原発の対応やホームに住所を置いて居られる方があり、市の担当者や情報共有することも多い。運営推進会議には毎回出席いただいている。	行政の担当者とは、運営推進会議への参加もあり緊密な関係となっている。原発に近い施設ということもあり、情報の共通認識で協力関係は出来ている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束等排除理念を掲示し、新人研修、現任者研修に定期的に取り組みと共に疑問が発生した場合法人全体で共有し身体拘束排除理念にもとづき解決したり、研修を実施している。	身体拘束等排除理念を掲示し、新人研修、現任者研修に定期的に取り組みと共に疑問が発生した場合法人全体で共有し身体拘束排除理念にもとづき解決したり、研修を実施している。	身体拘束をしない支援については、職員の認識は高く身体拘束の事例はない。玄関に施錠はなく利用者の出入りは職員の観察によって確認でき、外出する利用者には職員が付き添っている。各居室には鍵があり、自分で施錠する利用者もいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	法人全体で定期的に研修を実施している。拘束の延長が虐待であることを認識し精神的な拘束感等を含め言動に配慮するよう日常業務にあたっている。	法人全体で定期的に研修を実施している。拘束の延長が虐待であることを認識し精神的な拘束感等を含め言動に配慮するよう日常業務にあたっている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 東 )	自己評価／ユニットB( 西 )	外部評価	
			(事業所記入欄)	(事業所記入欄)	(評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	法人全体各管理者は外部研修で学び必要時制度の利用に繋がるよう支援させていただいている。またスタッフ研修に権利擁護に学ぶ機会を作っている。	法人全体各管理者は外部研修で学び必要時制度の利用に繋がるよう支援させていただいている。またスタッフ研修に権利擁護に学ぶ機会を作っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項は各項目漏らさず丁寧に説明し理解の度合いを確認している。利用料金、起こりうるリスク、看取り、医療連携体制等できる限り詳しく説明し納得頂いた上で文書で同意をえている。	重要事項は各項目漏らさず丁寧に説明し理解の度合いを確認している。利用料金、起こりうるリスク、看取り、医療連携体制等できる限り詳しく説明し納得頂いた上で文書で同意をえている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族訪問時はお茶を飲みながらできるだけゆっくりと時間をとり談笑の中から要望等が引き出せるよう留意して対応している。出された意見は関係者間で共有し速やかに反映できるようにしている。	ご家族訪問時はお茶を飲みながらできるだけゆっくりと時間をとり談笑の中から要望等が引き出せるよう留意して対応している。出された意見は関係者間で共有し速やかに反映できるようにしている。	職員は利用者やその家族と日頃から明るく笑顔で接し、意見や要望など話しやすい雰囲気作りを心掛けている。また、意見箱の設置や外部に市町の相談窓口があることも伝え、出された意見や要望等はサービスの質の向上へと繋げている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者は利用者との関係づくりを重視し、正規雇用を原則としている。管理者は毎日のミーティングを始め定期的に面談を持ち意見要望を聞けるように心がけている。	代表者は利用者との関係づくりを重視し、正規雇用を原則としている。管理者は毎日のミーティングを始め定期的に面談を持ち意見要望を聞けるように心がけている。	毎月2ユニット合同で行われる職員会議では、自由に意見を言える環境にあり、支援の中で気になることや改善点など意見や提案が積極的に出されている。管理者と職員は意思の疎通も十分に出来ており、出された意見は質の高いサービスになって反映されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	運営者は頻繁にホームを訪ね利用者、ご家族の把握や個別の職員の悩みの解決に努めている。年2回の人事考課を行い職員が向上心を持って働けるようまた資格取得等も奨励支援している。	運営者は頻繁にホームを訪ね利用者、ご家族の把握や個別の職員の悩みの解決に努めている。年2回の人事考課を行い職員が向上心を持って働けるようまた資格取得等も奨励支援している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人職員はマンツーマンのOJTの体制をとり、本人の能力、進捗状況により研修期間を設定している。定期的な内部研修はもとより外部研修で知識技術の向上を奨励し報告会を行うなど取り組みをしている。	新人職員はマンツーマンのOJTの体制をとり、本人の能力、進捗状況により研修期間を設定している。定期的な内部研修はもとより外部研修で知識技術の向上を奨励し報告会を行うなど取り組みをしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内、県内に連絡会があり、その中でスタッフの交流や研修を設けサービス向上に繋がるよう取り組んでいる。	市内、県内に連絡会があり、その中でスタッフの交流や研修を設けサービス向上に繋がるよう取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 東 )	自己評価／ユニットB( 西 )	外部評価	
			(事業所記入欄)	(事業所記入欄)	(評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談とホームの見学を相互に行いできるだけ本人、家族等と話す機会を持ち思いに繋げられるように努めている。	事前面談とホームの見学を相互に行いできるだけ本人、家族等と話す機会を持ち思いに繋げられるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	此れまでの家族の苦労や現在の状況、サービスの利用状況これからの思い等をできる限り丁寧に傾聴の時間をとり、真のニーズに対応できるように努めている。	此れまでの家族の苦労や現在の状況、サービスの利用状況これからの思い等をできる限り丁寧に傾聴の時間をとり、真のニーズに対応できるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	面談時困っておられること不安な思いをアセスメントツールで確認し早急にできることを見極め支援している	面談時困っておられること不安な思いをアセスメントツールで確認し早急にできることを見極め支援している		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	支援する側される側という意識を持たずお互いが協働しながら和やかな生活に繋がるよう場面づくり、関係づくりに努めている。	支援する側される側という意識を持たずお互いが協働しながら和やかな生活に繋がるよう場面づくり、関係づくりに努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人の日頃の状態をこまめに報告し、状況による相談やお互いのできることできないことを確認しながら協働させて頂いている。	本人の日頃の状態をこまめに報告し、状況による相談やお互いのできることできないことを確認しながら協働させて頂いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前の生活を把握し馴染みの人とは併設のデイサービスと調整する、かかりつけ薬局や美容室等関係機関等とも協働している。	入居前の生活を把握し馴染みの人とは併設のデイサービスと調整する、かかりつけ薬局や美容室等関係機関等とも協働している。	隣接のデイサービスを利用している近所の方との付き合いを支援したり、事業所周辺の散歩を行っている。利用者の馴染みの美容室には要望があれば職員で付き添い、対応したり、染髪のために施設に来ていただく等関係性を継続できる支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	集団活動のみんで過ごす時間や気の合う人同士を近くの席にするなど場面づくりに配慮し入居者間の関係が円滑になるように個性に合わせて職員が支援している。	集団活動のみんで過ごす時間や気の合う人同士を近くの席にするなど場面づくりに配慮し入居者間の関係が円滑になるように個性に合わせて職員が支援している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 東 ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( 西 ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も馴染みの職員がご家族やご本人を訪ね必要な相談にのったり担当者会議で継続サービスに繋がるよう支援している。	契約終了後も馴染みの職員がご家族やご本人を訪ね必要な相談にのったり担当者会議で継続サービスに繋がるよう支援している。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	センター方式のアセスメントツールで本人の思いや意向を網羅し把握するようにしている。	センター方式のアセスメントツールで本人の思いや意向を網羅し把握するようにしている。	これまでの暮らし方を理解し、職員は利用者に寄り添い、会話、傾聴することを心がけている。困難な場合は利用者の表情等から利用者の思いや意向を汲み取り、本人本位に検討されている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日常の会話の中や関わったサービス関係者やご家族から生活層等を把握するように努めている。	日常の会話の中や関わったサービス関係者やご家族から生活層等を把握するように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者一人ひとりの個性を理解し心理面や小さな動作から思いを感じ取り本人の全体像を把握している。	利用者一人ひとりの個性を理解し心理面や小さな動作から思いを感じ取り本人の全体像を把握している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎日ミーティングを行い小さな変化にもきめ細かく対応できるよう意見交換やモニタリングを行い日々のケア計画に繋げている。	毎日ミーティングを行い小さな変化にもきめ細かく対応できるよう意見交換やモニタリングを行い日々のケア計画に繋げている。	利用者や家族の要望を軸に、具体的な目標が立てられ、現状に即した介護計画が作成されている。モニタリング、評価や計画の見直しもきちんと行われている。更に本人の個性を適確に捉えたいと事業所独自の記録用紙を検討中で、意識の高さがうかがえる。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別にファイルを用意し食事・水分量、排泄、入浴、レクリエーション等身体状況や日々の暮らしの様子や本人の言葉エピソード等を記録し情報共有しより良いケアにつなげている。	個別にファイルを用意し食事・水分量、排泄、入浴、レクリエーション等身体状況や日々の暮らしの様子や本人の言葉エピソード等を記録し情報共有しより良いケアにつなげている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	緊急の受診、外出・泊食事の変更、等柔軟に対応できている。	緊急の受診、外出・泊食事の変更等柔軟に対応できている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 東 )	自己評価／ユニットB( 西 )	外部評価	
			(事業所記入欄)	(事業所記入欄)	(評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地元の職員の採用、運営推進会議に参加していただいている行政や民生委員等フォーマル・インフォーマルなサービスの情報が得やすく支援に繋げやすい環境にある。	地元の職員の採用、運営推進会議に参加していただいている行政や民生委員等フォーマル・インフォーマルなサービスの情報が得やすく支援に繋げやすい環境にある。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人やご家族が希望するかかりつけ医となっている。受診や通院はご本人やご家族の希望に応じて対応している。基本的にはご家族同行の受診となっているが不可能なときにはホームが代行援助している。	本人やご家族が希望するかかりつけ医となっている。受診や通院はご本人やご家族の希望に応じて対応している。基本的にはご家族同行の受診となっているが不可能なときにはホームが代行援助している。	利用者や家族の意向を大切に、入居前のかかりつけ医の継続受診を基本に支援している。受診が必要な場合は、基本的には家族同行となっているが、困難な場合は職員が対応し、家族に結果報告を行なっている。母体が病院であり、訪問診察や緊急時の医療も適切に受けられるよう支援されている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員を配置しており、常に利用者の健康管理や状態に応じた支援を行えるようにしている。	看護職員を配置しており、常に利用者の健康管理や状態に応じた支援を行えるようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時施設ケアマネージャーが同席し必要な情報を共有している。入院中の病状説明時もケアマネージャーであれば同席できるため家族に同意を得て情報共有できるように協力をお願いしている。病院より説明日時調整連絡がいただけるようになり利用者支援がし易くなっている。	入退院時施設ケアマネージャーが同席し必要な情報を共有している。入院中の病状説明時もケアマネージャーであれば同席できるため家族に同意を得て情報共有できるように協力をお願いしている。病院より説明日時調整連絡がいただけるようになり利用者支援がし易くなっている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化に伴う意思確認書を作成し、本人や家族の意向を踏まえ医師、スタッフが連携を取り安心して納得した最後が迎えられるように随時意思を確認しながら取り組んでいる。	重度化に伴う意思確認書を作成し、本人や家族の意向を踏まえ医師、スタッフが連携を取り安心して納得した最後が迎えられるように随時意思を確認しながら取り組んでいる。	重度化や看取りに向けた指針があり、契約時に本人及び家族に、事業所対応の説明も行われ同意を得ている。利用者の状態に合わせて主治医や家族と話し合いを持つ体制ができている。これまでも看取りの事例は多く、家族と職員・事業所は方針を共有している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変等に備え協力医療機関と手順等を共有し定期的に研修・訓練を実施し実践に備えている。	急変等に備え協力医療機関と手順等を共有し定期的に研修・訓練を実施し実践に備えている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	マニュアルを作成し年2回利用者と共に避難訓練を行っている。地域の協力体制については個別に近隣の方に協力依頼し避難訓練にも参加していただいている。また、消防署の協力で通報、避難、消火器による消防訓練を実施している。	マニュアルを作成し年2回利用者と共に避難訓練を行っている。地域の協力体制については個別に近隣の方に協力依頼し避難訓練にも参加していただいている。また、消防署の協力で通報、避難、消火器による消防訓練を実施している。	消防計画に基づき、昼間と夜間を想定した防災避難訓練が同一敷地にあるデイサービスと連携して、年2回定期的実施されている。消防署の指導も受けている。また緊急時を想定した原発防災避難訓練も市の手順に沿って実施予定となっている。食料品など備蓄も整っている	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 東 )	自己評価／ユニットB( 西 )	外部評価	
			(事業所記入欄)	(事業所記入欄)	(評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉がけや対応をしている	プライバシー保護や尊厳に関する研修を定期的に位置付け職員の意識の向上に努めている。また、接遇マナー研修を取り入れその方の誇りを傷つけないようさりげないケアが身につき本人の意思決定がしやすいように心がけている。	プライバシー保護や尊厳に関する研修を定期的に位置付け職員の意識の向上に努めている。また、接遇マナー研修を取り入れその方の誇りを傷つけないようさりげないケアが身につき本人の意思決定がしやすいように心がけている。	利用者の尊厳を尊重することを意識しながら言葉がけを含む日々の支援に取り組んでいる。個人情報の保護や秘密保持は運営規程どおりにきちんと実施されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	食事、入浴、排泄、更衣のタイミング・服選び、レクリエーションの参加の有無等々日常の些細なことから表情や筆談等その方に合わせて意思を確認する働きかけをしている。	食事、入浴、排泄、更衣のタイミング・服選び、レクリエーションの参加の有無等々日常の些細なことから表情や筆談等その方に合わせて意思を確認する働きかけをしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個性やペースを大切にすることができるだけその日をどう過ごしたいのか過ごしていただいたらその方らしいのかを本人、ご家族スタッフで確認しながら支援させて頂いている	個性やペースを大切にすることができるだけその日をどう過ごしたいのか過ごしていただいたらその方らしいのかを本人、ご家族スタッフで確認しながら支援させて頂いている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	更衣は原則本人の意向で決めていただいている。お化粧品も入居前の状態をできるだけ継続していただけるよう支援させて頂いており必要時はご家族の協力もお願いしている。	更衣は原則本人の意向で決めていただいている。お化粧品も入居前の状態をできるだけ継続していただけるよう支援させて頂いており必要時はご家族の協力もお願いしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居時に好き嫌いを把握すると共に能力に合わせて役割を分担して頂いている。誕生日にはその方の希望を献立に反映させて頂いている	入居時に好き嫌いを把握すると共に能力に合わせて役割を分担して頂いている。誕生日にはその方の希望を献立に反映させて頂いている	食事介助も声をかけながらゆっくりとした食事である。昼食は厨房から届く食事であるが、朝夕は職員が調理し提供している。利用者の誕生日には、好みの食事を提供している。職員は月1回栄養士と面談し献立に反映させている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士に便秘に強いバランスがよく季節感のある基本メニューをお願いしている。また、主治医は定期検査で栄養状態を把握し食事等に反映できるように連携している。	栄養士に便秘に強いバランスがよく季節感のある基本メニューをお願いしている。また、主治医は定期検査で栄養状態を把握し食事等に反映できるように連携している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔機能が健康状態を左右することをスタッフ間で共有しその方の能力に合わせた口腔ケアを毎食後支援させて頂いている。必要時スポンジやガーゼ等も導入している。	口腔機能が健康状態を左右することをスタッフ間で共有しその方の能力に合わせた口腔ケアを毎食後支援させて頂いている。必要時スポンジやガーゼ等も導入している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 東 )	自己評価／ユニットB( 西 )	外部評価	
			(事業所記入欄)	(事業所記入欄)	(評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個別に排泄パターン表を作成し尿意の訴えない方も頃合や生活時間をみてトイレ誘導している。原則ポータブルは使用せずトイレ使用できるよう全居室にコール設置とトイレの数を3人に1箇所と数の検討と手すりの位置を工夫するなど設計にも配慮した。	個別に排泄パターン表を作成し尿意の訴えない方も頃合や生活時間をみてトイレ誘導している。原則ポータブルは使用せずトイレ使用できるよう全居室にコール設置とトイレの数を3人に1箇所と数の検討と手すりの位置を工夫するなど設計にも配慮した。	利用者一人ひとりに合わせた排泄の自立支援を心がけている。居室内にトイレの設置はなく、夜間も排泄チェックシートやコールを活用し、パッドやオムツなど本人の必要に合わせてながらトイレでの排泄支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄状態によりできるだけ下剤を使わないように繊維の多い献立や立位、歩行促す等腸の動きを促す等工夫している。水分量にも気配りしている。	排泄状態によりできるだけ下剤を使わないように繊維の多い献立や立位、歩行促す等腸の動きを促す等工夫している。水分量にも気配りしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入居前の入浴習慣を把握し継続できるように支援している。入浴時間の制限は無くいつでも毎日入れるように環境を整え、希望に添えるように時間調整させて頂いている。	入居前の入浴習慣を把握し継続できるように支援している。入浴時間の制限は無くいつでも毎日入れるように環境を整え、希望に添えるように時間調整させて頂いている。	入浴希望があれば夜間を含めてほぼ毎日でも入浴できる支援を心がけている。入浴を拒まれる場合は強制はせず、気分を変えたり家族と相談し、足浴や清拭で対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中のその方の生活時間にあわせ来客、入浴、外出、活動等に合わせ個別に休息をとって頂いている。また夜間の睡眠に無理なく繋がるように一日の生活時間の流れには配慮している。	日中のその方の生活時間にあわせ来客、入浴、外出、活動等に合わせ個別に休息をとって頂いている。また夜間の睡眠に無理なく繋がるように一日の生活時間の流れには配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬ノートを活用し服薬内容や効能、副作用等常時確認できるようにしている。処方の変更されたり本人の状態の変化が見られるときは協力医療機関やかかりつけ薬局と連携し速やかに対応できるように努めている。	お薬ノートを活用し服薬内容や効能、副作用等常時確認できるようにしている。処方の変更されたり本人の状態の変化が見られるときは協力医療機関やかかりつけ薬局と連携し速やかに対応できるように努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居時よりご本人の生活歴や嗜好品、楽しみごとを話題にすると共に得意分野を引き出し役割に繋がるよう支援させて頂いている。屋外散歩も大切な機会と捕らえている。	入居時よりご本人の生活歴や嗜好品、楽しみごとを話題にすると共に得意分野を引き出し役割に繋がるよう支援させて頂いている。屋外散歩も大切な機会と捕らえている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	環境に恵まれておりできるだけ屋外で刺激を受けていただきたいと支援させて頂いている。また、衝動的に外に出られる方もできるだけ制限せず付き添わせて頂いている。ご家族の協力で墓参りを兼ねた外泊も実施できている。	環境に恵まれておりできるだけ屋外で刺激を受けていただきたいと支援させて頂いている。また、衝動的に外に出られる方もできるだけ制限せず付き添わせて頂いている。ご家族の協力で墓参りを兼ねた外泊も実施できている。	希望に応じて近くのコンビニまで買い物に出かけたり、車椅子利用の方でも広い敷地内を散策しながら新鮮な空気を味わうことができるよう支援している。	



自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 東 )	自己評価／ユニットB( 西 )	外部評価	
			(事業所記入欄)	(事業所記入欄)	(評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	小使いを自己管理し買い物定期的に支援させて頂いている方や訪問美容を利用されている方は少ない機会を生かすためにお一人ずつ支払いを済ませて頂いている。	小使いを自己管理し買い物定期的に支援させて頂いている方や訪問美容を利用されている方は少ない機会を生かすためにお一人ずつ支払いを済ませて頂いている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は事務所の電話を無料で常時使用でき取り次ぎもできるようになっている。手紙は歩いて数分のところにポストがありいつでも投函できる環境にあり、必要時支援させて頂いている。	電話は事務所の電話を無料で常時使用でき取り次ぎもできるようになっている。手紙は歩いて数分のところにポストがありいつでも投函できる環境にあり、必要時支援させて頂いている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	光はカーテンで音は等表情等に注意しながら調整している。建物の周囲を植木で囲まれており四季を身近に感じられるように配慮している。	光はカーテンで音は等表情等に注意しながら調整している。建物の周囲を植木で囲まれており四季を身近に感じられるように配慮している。	食堂兼リビングには対面式キッチンから朝夕の調理の様子がわかり、五感を通じて味わえ生活観がある。窓が多く明るい。それに続く畳の間は利用者がゆっくり過ごせる場所となっている。空調環境も整っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事のときはそれぞれに席が固定しており落ち着いて食事をされている。廊下や玄関等腰掛を置き休憩したり、談笑したり畳スペースで横になったりできるようになっている。浴室は一般的な家庭の浴室を意識した設計になっている。	食事のときはそれぞれに席が固定しており落ち着いて食事をされている。廊下や玄関等腰掛を置き休憩したり、談笑したり畳スペースで横になったりできるようになっている。浴室は一般的な家庭の浴室を意識した設計になっている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の家具はご自宅で使い慣れたものを勧め特に制限せず布団を希望される方は布団を用意するなどご本人やご家族に決めていただいている。	居室の家具はご自宅で使い慣れたものを勧め特に制限せず布団を希望される方は布団を用意するなどご本人やご家族に決めていただいている。	各居室には、利用者の馴染んだ品物や使い慣れたものが持ち込まれている。また、製作した自慢の手芸品などが飾られている。持ち込みが少ない方でも、スタッフの支援でその人らしい居室になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリー設計で車椅子自走可能であり、トイレや浴室、廊下の手すりや流し台の高さ、自動センサー蛇口、常時屋外に避難できる平屋で吐き出し窓の多い設計にするなど安全と自立に配慮している。	バリアフリー設計で車椅子自走可能であり、トイレや浴室、廊下の手すりや流し台の高さ、自動センサー蛇口、常時屋外に避難できる平屋で吐き出し窓の多い設計にするなど安全と自立に配慮している。		

**V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)**  
**※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項 目		取 り 組 み の 成 果			
		ユニットA	ユニットB	↓ 該当するものに○印をつけてください	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の	
				2. 利用者の2/3くらいの	
				3. 利用者の1/3くらいの	
				4. ほとんど掴んでいない	
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある	
				2. 数日に1回程度ある	
				3. たまにある	
				4. ほとんどない	
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が	
				2. 利用者の2/3くらいが	
				3. 利用者の1/3くらいが	
				4. ほとんどいない	
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が	
				2. 利用者の2/3くらいが	
				3. 利用者の1/3くらいが	
				4. ほとんどいない	
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が	
				2. 利用者の2/3くらいが	
				3. 利用者の1/3くらいが	
				4. ほとんどいない	
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が	
				2. 利用者の2/3くらいが	
				3. 利用者の1/3くらいが	
				4. ほとんどいない	

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。  (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。  (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。  (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。  (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。  (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない